

柏原地域密着型高齢者施設太寿（特養・グループホーム）

第45回（通算回数）運営推進会議記録

開催日時 平成31年3月12日（火）AM10時30分～11時30分

開催場所 柏原地域密着型高齢者施設 太寿 1F 地域交流スペース

【構成メンバー】

入居者 2名（特養・グループホーム） 地域住民代表者（地区福祉委員）3名
入居者家族 2名（特養・グループホーム） 柏原包括支援センター 1名
柏原市職員 1名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 3名（寿光会理事長兼施設長・太寿副施設長・グループホーム管理者）
構成メンバー総数 13名

【当日参加者】

入居者 0名 地域住民代表者（地区福祉委員）2名
入居者家族 1名 柏原市包括支援センター 1名
柏原市職員 0名（柏原市高齢介護課） 柏原社協CSW堅下地区担当 1名
施設職員 5名（寿光会理事長兼太寿施設長・柏原寿光園副施設長・太寿副施設長・
GH計画作成担当者・デイサービス高寿担当者）
出席者総数 10名

【議題・式次第等】

1. 開会挨拶
2. 前回の懸案事項の回答・報告
3. 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
4. グループホーム太寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
5. デイサービス高寿 活動状況報告、事故及びヒヤリハット等の報告
6. その他

1 開会挨拶（理事長）

おはようございます。足元が悪い中、運営推進会議にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。

12月に太寿（全3事業）、2月に柏原寿光園（特養・ショート）とそれぞれ実地指導がありました。両拠点共に文書による指摘事項はなく、事業が適正に運営できていると評価をいただきました。現状に甘んじず、今後も引き続き法令に基づいた適切な事業運営に努めていきたいと考えています。

地域密着型事業であるデイサービス高寿も、今回は半年ぶりに参加して事業内容を報告いたします。太寿分を含めてたくさんのご報告となりますが、ご審議のほど、どうぞよろしく願いいたします。

② 前回の懸案事項の回答・報告

特にございません。

③ 特別養護老人ホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告(別紙により報告)

特養担当者・・・

【入居申込みや相談の状況】

- ◇入居申し込み受付件数は、前回会議以降 1・2 月にそれぞれ 1 件ずつのみでした。入居に関する問い合わせや具体的な相談につきましても少なかったです。
- ◇月が替わり、3 月になると一転し、今月はまだ 10 日程しかたっていませんが、既に 3 件の申し込みを受け付け、見学や相談が 5 件ありました。時期的なものがあるのかどうかはわかりませんが、今月に入ってから急に増えたような印象を受けています。
- ◇ご相談いただいた方の居所について、住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅に入居中の方が半分以上を占めているのが今月の特徴的なところですよ。
- ◇「地域包括ランチ窓口」としての相談についてはこれまでと大きく変わらず、数は多くは無いですが、電話や窓口で対応しております。

【入居者様の状況】

【退 居】

2 月 26 日に 3 階西ユニットの入居者 1 名が、看取り介護の末にご逝去され、退居となりました。

【入 居】

2 月 1 日と 3 月 11 日に 1 名ずつ、いずれも 3 階西ユニットに新規でご入居いただきました。

【医療機関に入院】

1 月中旬よりご入院されていた入居者様が、治療が終わって 2 月 25 日に医療機関を退院し、元の 3 階西ユニットに戻ってこられました。ずっと願っておられた太寿に戻ることが実現でき、ご本人は安堵の涙を浮かべておられました。

【インフルエンザ】

- ◇前回の会議時に世間での流行と共に、特養入居者にもインフルエンザに罹患された方がいることをご報告いたしました。その後、現在に至るまで、入居者様でインフルエンザを発症された方はおられません。この間に体調を崩される方も少なく、比較的安定して過ごしておられました。
- ◇職員につきましては 2 月にインフルエンザにかかった者が 3 名おりましたが、早い段階で出勤を控えたことが功を奏し、他に感染が拡大することはありませんでした。
- ◇温かい日も増えて、今月に入ってからインフルエンザの流行も全国的に下火に向かっています。マスク着用や消毒、外出を控えるといった感染症予防対策は、念のために今月末まで継続する予定です。

【最近の取り組み】

※別紙「ここのところの様子」をご参照ください。

※1・2月につきましては、感染症予防対策の一環として、多人数が集まったイベントは中止にしています。4月からは本格的にボランティア様によるイベントをバンバン再開していく予定です。

◇2月1日、季節の取り組みとして「節分豆まき」を行いました。別紙写真の通り、今年は一風変わった鬼たちが大暴れし、ユニット内は笑い悲鳴がこだましてとても盛り上がりました！

◇2月5日に柏原市社会福祉協議会様の取り組みである「認知症サポーター養成講座」と「シニア体験」が堅下小学校で行われ、太寿もその活動に参加し、活動のお手伝いを行いました。対象は小学6年生の児童の皆様で、高齢者や認知症について学んでいただきました。思っていた以上に子供たちは真剣な眼差しで取り組んでおり、お手伝いをした私自身も嬉しく思いました。社協さんや他の施設さんとも協力し、このような地域社会に対する取り組みは、これからも積極的に行っていきたいです。

◇桃の節句に合わせ、2月中旬ごろから1階地域交流スペースに雛人形を飾りました。この間に皆様にご覧いただき、記念撮影を行いました。

◇2月22日、行事委員会の主催で「ぜんざいパーティー」を開催しました。入居者様に手作りのぜんざいを振舞い、甘さと美味さにウットリしていただきました。1階の地域交流スペースをメイン会場にして、普段のユニットでのおやつと気分の違うおやつを楽しんでいただきました。

◇今月下旬より、桜の開花に合わせて少人数単位で近隣に花見に出かける予定です。

◇寿光会の社会貢献の取り組みとして実施している“こども食堂&学習支援”につきましては、これまでと同様に木曜日ごとに開催しています。

※こども食堂&学習支援（毎月第2・4木曜日、17時半～20時）

※学習支援（毎月第1・3木曜日、17時半～20時）

4 グループホーム太寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告

※グループホーム担当者・・・

【入居申し込み状況】

平成31年3月11日時点で空床なしです。申し込みは2件あります。

【入居様の状況】

◇平成30年7月に新規ご入居があつて以来、入退居はありません。

◇今年は全国的にインフルエンザが流行し、外出や外泊、受診で人ごみに行かれる入居者さんもいて心配しましたが、流行も下火になって今季はどうか乗り切ることができそうです。

◇体調の優れないことが続き、3/11に入居者1名が医療機関に入院されました。

【最近の取り組み】

◇2/1 の節分行事で「鬼」が来てくれました。鬼に目がけて豆を撒いたり食べたりと、賑やかな時間を過ごすことができました。

◇毎月の餃子レクは継続しています。2月は18日に実施しました。手先を器用に使って餃子を包める人は少ないですが、どのような包み方でもOKにして、皆様に頑張って取り組んでいただくようにしています。

◇「柏原市昔の写真展・昭和30年頃にタイムスリップ」というイベントがあるのを広報誌で情報を得て、2月10日に市民プラザ・アゼリアに見に行きました。展示会場は貸し切り状態で、ゆっくりと見学することができました。写真を見て、昔を思い出して懐かしむ方もおられ、喜ばれていました。

◇2/17・18 良い天気だったので、梅の花見に出かけました。太平寺の観音寺前の畑に咲く梅の木が満開近しになっていて、良い香りを放っていました。目の前の梅に鼻を近づけて匂いをかかれる方もいて、みなさん喜ばれていました。

【今後の取り組み】

◇3/27・・・桜の花見と、外食でお寿司を食べに行くレクを企画しています。

◇来月よりボランティア様による催しもあり、みなさん楽しみにされています。

◇季節を感じていただけるよう、天気の良い日には積極的に散歩やドライブをしていこうと考えています。

5 デイサービス高寿 活動状況報告・ヒヤリハット等の報告

※デイサービス担当者・・・

【近況について】

4月で移転後1年を迎えます。おかげさまで大きな事故もなくサービス提供を実施することができました。1年前と比べても稼働率が約10%増と多くの方にご利用いただいています。

地域密着型通所介護として、以前の安堂・太平寺地区のように、地域の多くの皆様に存在を知っていただけるデイサービスを目指したいと思います。

【各曜日空き状況】

現状秋のある日は、月・木・土曜日となっています。それ以外の定員を満たしている曜日についても、市内各ケアプランセンター様と密な連携を図り、最新状況が常に伝わるようにしていきます。

【利用者様の状況】

インフルエンザについて、デイサービスご利用の方は罹患者ゼロと、皆様元気にお過ごしでした。施設全体としても毎年実施している感染予防対策を、この3月末まで実施しています。引き続き感染予防に取り組みます。

また、例年1～2月にかけて体調を崩される方が増え、デイ利用のキャンセルも多くなる時期です。今年も現時点で入院者が6名と多くなっています。先程の空き状況とのバランスや利用再

開見通しの有無も考慮の上で、新規利用者様の受け入れへとつなげていきたいと考えています。

【地域のニーズについて】

近年、ご利用者様のデイサービスに対するニーズの多様性を感じています。皆様、それぞれの目的・課題を持ってデイサービスを希望されますが、その中でも柔軟な時間帯でのご利用希望を多くいただくようになりました。具体的には「お風呂だけが困っているから、入浴したらすぐに帰りたい」や「朝の準備にとっても時間がかかるから、遅くに迎えに来てほしい」「家族が仕事に出かけるから、1番で迎えに来てほしい」等です。

今後もデイサービスのスケジュールに利用者様が合わせるのではなく、皆様の多様なニーズに柔軟に corres 応することを意識して、お客様の満足度をさらに高めていければと考えています。

6 その他

要望・助言内容（主な事柄のみ掲載）

◇**家族代表**・・・

冒頭に施設長さんから実地指導を受けたと報告がありましたが、この実地指導とはどういうものになるんですか？

→（施設長）

介護保険法や老人福祉法に基づいて、我々の施設・法人が適正に事業運営を行っているかについて、数年に1度柏原市や大阪府の担当者が施設を訪問して実施されるものです。現地にて書類や記録内容を基にしなが、日々の事業内容について確認が行われます。

家族代表・・・

入居者の生活する場面での指導もあるのですか？

→（柏原寿光園副施設長）はい、入居者様が生活されているユニットでの対応方法についての指導もあります。柏原寿光園では、ナースコールの対応に関する助言もいただきました。このように、書類や記録のことだけではなく、処遇や設備に関することも指導の対象となっています。

◇**地域包括担当者**・・・

利用者様の個々のニーズにこえていく取り組みをしているとデイサービスの報告にありましたが、とても素晴らしいことだと思います。ただ、ニーズにこえていくのにも限度があると思いますが、どのあたりまで対応が可能なのでしょうか？

→（デイサービス担当者）・・・

どうしても送迎を絡めることになり、職員の配置状況も勘案し、通常の送迎時間帯以外の対応については、現在のところ1日に1名を限度として対応しています。もちろん、ニーズがあれば柔軟に対応していくように最大限努力しますし、今後はもっと幅広く対応できるようにしていきたいと考えています。

※次回の運営推進会議は、「5月14日（火）午前10時30分～」の予定です。